

| 1113 複合領域科目 2-98 (日韓関係論入門)   |  |
|--|--|
| 英名科目名  | Integrated Studies 2-98 -Introduction to the Japan - South Korea Relations-  |
| 大学名  | 同志社大学  |
| 連絡先  | 社会学部・社会学研究科事務室<br>TEL 075-251-3411<br>FAX 075-251-3031   |
| 担当教員   | 板垣 竜太 (社会学部)<br>太田 修 (グローバル・スタディーズ研究科)<br>小川原 宏幸 (グローバル地域文化学部)<br>鄭 祐宗 (グローバル・スタディーズ研究科)   |
| 開講期間   | 2021年09月29日(水)～2022年01月19日(水)<br>1 講時 9時00分-10時30分 (毎週水曜日)<br>休講2021/12/29 (水)<br>休講2022/01/05 (水)   |
| 開講形態   | 後期・秋学期 開講曜日・講時 水曜日 1講時   |
| 単位数  | 2 履修年次 1 年次生以上   |
| 会場   | 今出川校地  |
| 授業定員   |  |
| 単位互換生定員  | 20 京カレッジ生定員 5  |
| 試験・評価方法  | ・平常点(出席, 授業への参加) 30%<br>授業に出席すること+コメント(感想・質問)の質。<br>・提出物: 7名の担当者が課す小レポート 70%<br>各テーマについての理解度を評価する。   |
| 超過時の選考方法   | 書類選考   |
| 受講料  | 科75,000円(選10,000円、登25,000円、履40,000円)、聴26,000円  |
| 別途負担費用   | なし   |
| その他特記事項  | 本講義は、教室での対面授業とZoomなどのオンライン会議システムによるネット配信を併用した形で行う予定です。ネット配信に際しては、リアルタイムで参加できない学生には、録画したものを視聴できるように配慮します。<br>COVID-19の状況や受講者数によっては、全面的にオンラインによる授業となる可能性もあります。<br>授業に関する連絡は、e-classで行うので、メールは定期的にチェックしてください。<br><br><a href="http://kyoto-korea.net">http://kyoto-korea.net</a><br>2012年4月に発足した「京都コリア学コンソーシアム」のウェブサイトです。<br>イベント情報などが掲載されます。 |
| パッケージ科目  |  |
| 低回生受講推奨科目  |  |
| 講義概要・到達目標  |  |
| <p>&lt;概要&gt;<br/>本講義は、「京都コリア学コンソーシアム」所属教員によるリレー講義である。本学の複数学部の教員のほか、立命館大学、佛教大学、京都大学等の教員をゲスト・スピーカーとして招き、7名の講師がそれぞれ2回ずつ各自の専門テーマを講義する。<br/>2013年度からさまざまなテーマで講義をおこなってきたが、2021年度は2020年度にひきつづき日韓関係を主題とする。日韓の政府間では、日本軍「慰安婦」問題や「徴用工」問題などをきっかけに関係が悪化した。一方で民間次元ではK-Popなどを通じた文化交流が幅広く続いている。本講義では、日韓関係の基礎となっている歴史問題から大衆文化まで、幅広く日韓関係のトピックをとりあげ、専門的な知識の裏付けをもとに分かりやすく論ずる。<br/>なお、本講義は、「大学コンソーシアム京都」の単位互換科目として開放されるため、京都の諸地域の学生と交流する機会となることも期待される。</p> <p>&lt;到達目標&gt;<br/>現代の日韓関係について、確かな根拠に基づき理解することができるようになる。</p> |  |

| 講義スケジュール  |             |
|---|-------------|
| 第01回 歴史認識問題と「嫌韓」論1 (同志社大学 板垣竜太)<br>第02回 歴史認識問題と「嫌韓」論2 (同志社大学 板垣竜太)<br>第03回 韓国併合と朝鮮の植民地化1 (同志社大学 小川原宏幸)<br>第04回 韓国併合と朝鮮の植民地化2 (同志社大学 小川原宏幸)<br>第05回 日本の植民地支配と文化財調査1 (京都大学 吉井秀夫)<br>第06回 日本の植民地支配と文化財調査2 (京都大学 吉井秀夫)<br>第07回 戦後日韓関係と日韓条約体制1 (同志社大学 太田修)<br>第08回 戦後日韓関係と日韓条約体制2 (同志社大学 太田修)<br>第09回 戦後日韓関係と在日朝鮮人1 (同志社大学 鄭祐宗)<br>第10回 戦後日韓関係と在日朝鮮人2 (同志社大学 鄭祐宗)<br>第11回 日韓関係とジャーナリズム1 (立命館大学 森類臣)<br>第12回 日韓関係とジャーナリズム2 (立命館大学 森類臣)<br>第13回 韓国のポップカルチャーと日韓関係1 (佛教大学 山本彩乃)<br>第14回 韓国のポップカルチャーと日韓関係2 (佛教大学 山本彩乃)<br>第15回 まとめ (板垣竜太) |             |
| オムニバス講義のため、やむをえない事情により順番等が変更になることもあります。   |             |
| 教科書   | 各担当者の指示による。 |
| 参考書   |             |